

# 環境経営レポート

令和5年8月15日

対象期間：令和4年7月1日～令和5年6月30日



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



TEL 0263-25-1500 · FAX 0263-27-3705  
URL: <http://www.mikasa-nagano.co.jp>

株式会社 ミカサ

# 環境経営方針

## 基本方針

株式会社ミカサは、工業用品、環境用品、梱包資材の販売及び緩衝材の開発・設計・製造を通じお客様のニーズに応え、社会に貢献する企業を目指します。

地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識し、循環型社会実現のため、資源の有効活用と最適商材の提案に取り組むことで、高い品質と顧客満足の上昇を図り、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

## 行動指針

1. 環境負荷が少なく、お客様に満足いただける品質の高い商品を提供し、環境に配慮した企業活動を推進します。
  - 1) 電力消費の節減等、省資源・省エネルギーを図ります。
  - 2) 品質向上と原材料の効率的使用により、廃棄物の削減、リサイクルを推進します。
  - 3) カイゼン活動を推進しムリ・ムダ・ムラを無くし、生産効率の向上を目指します。
  - 4) グリーン購入、省エネ設備の導入を積極的に進めます。
2. 3R(リデュース・リサイクル・リユース)を考慮した製品の設計・提案、環境配慮製品の販売を積極的に行う事により、社会的な環境負荷の低減に努めます。
3. 環境関連の法令、規制、協定等を遵守します。
4. 環境経営の継続的改善を実施し、全社員の環境に対する理解と意識の上昇を図ります。
5. 生物多様性保全に取り組みます。
6. 化学物質の管理を徹底します。
7. この環境経営方針はホームページ等で広く一般に公開します。

2018年7月1日

株式会社 ミカサ

代表取締役社長 三澤 敏宏

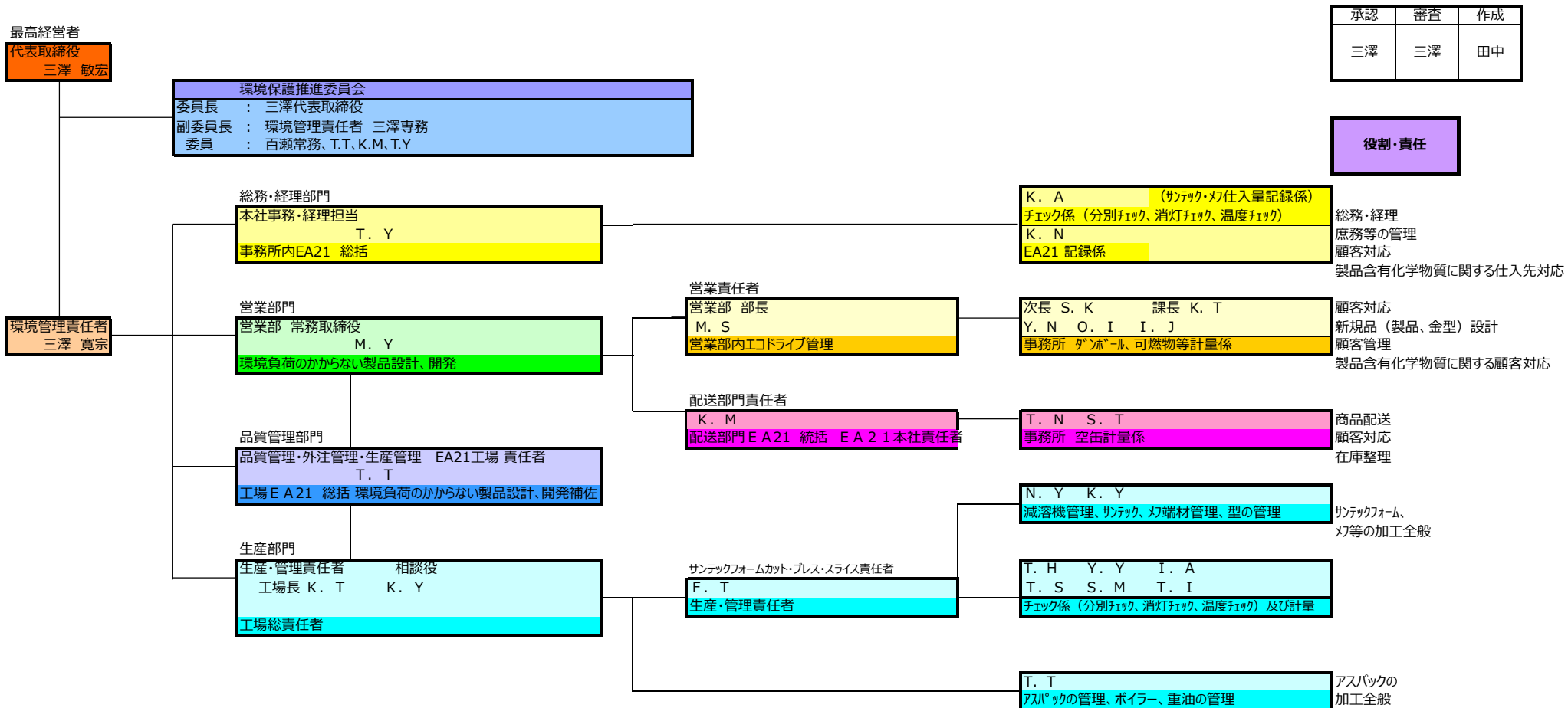
# 目次

1.	会社概要と対象範囲(認証・登録範囲)	1 P
2.	組織図	2 P
3.	環境目標及び環境活動計画	3 P
4.	主な取組の実績	4 P
5-1.	環境活動とその結果(ガス使用量、灯油使用量)	5 P
5-2.	環境活動とその結果 (ガソリン・軽油使用量、重油使用量)	6 P
5-3.	環境活動とその結果 (コピー用紙使用量、温室効果ガス推移)	7 P
5-4.	環境活動とその結果(電気使用量、上下水道使用量)	8 P
5-5.	環境活動とその結果(産業廃棄物・減容チップ)	9 P
6.	減容チップ、産廃金額経年変化のグラフ (H23~R2)	10 P
7.	E A 2 1 経年変化のまとめグラフ (H17~R2)	11 P
8.	防災訓練レポート	12P~13P
9.	環境関連法規への違反、訴訟の有無	14 P
10.	活動の見直し	15 P
11.	代表者コメント	16 P

## 1. 会社概要と対象範囲(認証・登録範囲)

事業者名	株式会社ミカサ
代表者名	代表取締役社長 三澤 敏宏
所在地	長野県松本市高宮北4-2
環境管理責任者 / 担当者 / 連絡先	取締役専務 三澤 寛宗 同上 TEL 0263-25-1500 FAX 0263-27-3705 e-mail <a href="mailto:hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp">hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp</a>
社内 E A 21 E M S 事務局 / 連絡先	松本市高宮北4-2 (株)ミカサ総務部内 TEL 0263-25-1500 FAX 0263-27-3705 h-page <a href="http://www.mikasa-nagano.co.jp">http://www.mikasa-nagano.co.jp</a> e-mail <a href="mailto:hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp">hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp</a>
事業の内容	旭化成株式会社製品の加工、販売 包装資材の販売 包装機械の販売 工業用品の販売 清掃用品及び消耗品の販売
事業の規模	従業員数 29名(パートも含む) 本社/長野県松本市高宮北4-2 工場/長野県松本市井川城1-4-7 床面積 2355m <sup>2</sup>
E A 2 1 対象範囲 (認証・登録範囲)	全組織(本社・井川城工場)・全活動

## 2 組織図



R4.8.22

# 環境経営目標及び環境経営計画

作成責任者 三澤 R5.7.1

赤字：環境目標（数値他）

青字：環境目標及び環境活動計画

	短期目標及び環境活動計画(R4.7.1～R5.6.30)	中期目標及び環境活動計画(R4.7.1～R7.6.30)
①廃棄物排出量の削減及び3R 	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物排出量を新基準値原単位14%削減（19,594kg） 新基準値(16,958kg) 原単位目標（17.8） 新基準値原単位(20.7)</li> <li>減容率は実態に合わせて算定方法を変更 前年比3%増 目標44% 新基準値(14,183kg) 新基準値原単位(18.5)</li> <li>流失不良品数は17件であった。今期は30%削減（12件）を目指す。</li> <li>メフやその他加工品端材は70ンティアスピット E・P・S様に産業廃棄物として処理する。 70ンティアスピット E・P・S様よりRPF（固形燃料）として処理される。</li> <li>新たにリサイクルに廻せる方法を検討する。</li> <li>カタログ、雑誌、新聞、ダンボール、シレッター屑等はヤマカ資源回収様に引き取って頂く。</li> <li>D Xの推進により請求書の電子化 電帳法運用開始準備 電子化の推進</li> <li>コピー用紙 事務所：新基準原単位比12%削減 35,439枚 新基準値(事務所 28,070枚) 工場：2018～2021年平均原単位比12%削減 12,826枚 (工場 11,442枚)</li> <li>i Pad 利用により営業会議資料の電子化</li> <li>ダブルモニターの普及によるプリントアウト削減</li> <li>廃掃法に従った廃棄物処理を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年：産業廃棄物排出量を新基準値原単位32%削減 原単位目標 14.1</li> <li>減容率基準原単位比4%UP 44%</li> <li>流失不良品数を限りなく0件に近づける。</li> <li>引き続きお願いする。</li> <li>紙類のリサイクル率を上げ可燃物量の削減を実現する。</li> <li>コピー用紙新基準原単位12%削減 事務所 原単位目標29.7 工場 原単位目標11.7</li> <li>引き続きお願いする。</li> </ul>
②二酸化炭素排出量の削減 	<p>(平成19年度中部電力実排出係数0.47(kg-CO2/kWh) )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二酸化炭素排出量を新基準原単位比46%削減（130,345Kg-CO2）目標原単位 118.5 新基準年度原単位（219.4）</li> <li>エアコンの設定温度は、室温が夏27℃、冬23℃になるよう設定する。</li> <li>ストーブは基本温度は23℃に設定。 (こまめな温度調整をお願いする。)</li> <li>昼食時の消灯。</li> <li>使用していない場所の電気、エアコンを消す。</li> <li>使用していない機械の電源を切る。</li> <li>前年燃費に対し3%UPを目標とする。(各車両ごと)</li> <li>営業、セールスドライバーの重複するエリアの特定。テレマテックスの利用 テレマテックスを導入し、急ハンドル、急加速、急減速など「急」を無くすことにより 安全運転&amp;エコドライブの実現 営業エリアと配送エリアの重複を回避し燃料と時間のロス減らす。</li> <li>社内に拘らず、社外に対してもカーブス、ウォームビズの推奨をお願いする。</li> <li>社外に対しCO2削減をお願いする為、弊社敷地内でのアイドリング禁止をお願いする。</li> <li>残業時間2019～2021年度の原単位平均値⇒0.37 -30%目標を目指す。 目標原単位 0.26</li> <li>労働生産性 2019～2021年度平均比で5%UPを目指す。</li> <li>事務所倉庫の整理整頓(年末の大掃除に不要な商品廃棄によりスペース確保後、商品置き場の最適化)</li> <li>松本市花いっぱい運動への寄付によりCO2削減を外部組織との協働実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年：二酸化炭素排出量を新基準原単位比53%削減 目標原単位 106.5</li> <li>引き続きお願いする。</li> <li>引き続きお願いする。</li> <li>引き続きお願いする。</li> <li>引き続きお願いする。</li> <li>引き続きお願いする。</li> <li>H21平均燃費に対し5%UPを目標とする。次期車両の選定。(各車両ごと)</li> <li>アイドリングストップ、効率の良い運送経路の実現。(IoTドライブの実施)</li> <li>エコカーへの乗り換え推進。</li> <li>引き続きお願いする。</li> <li>引き続きお願いする。</li> <li>残業時間の削減 目標原単位 0.26</li> <li>労働生産性 2019～2021年度平均比で5%UPを目指す。</li> <li>事務所倉庫の更なる整理</li> <li>引き続き参画。</li> </ul>
③水使用量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水の継続的取組み。(269m)</li> <li>(増加傾向がある為、蛇口の閉め忘れ等十分注意する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水の継続的取組み。(269m)</li> </ul>
④化学物質の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質を適正に管理する (特にRoHS2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質を適正に管理する</li> </ul>
⑤法令等の遵守  	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境法令の調査、リスト作成および関係法令の周知。 (環境基本法～)</li> <li>S D Sを会社で管理・社員に周知・対策検討。</li> <li>防災検査結果の確認。</li> <li>R2.3.16 経済産業省より連携事業継続力強化計画認定された。自社のBCPの整備を強化。</li> <li>フロン排出抑制法対策。(エアコンの簡易点検実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底。</li> <li>緊急時の訓練を年1回実施する。</li> <li>事業継続計画（BCP）の更なる整備</li> </ul>
⑥環境教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> <li>S D Gs(持続可能な開発目標)への理解を深める</li> <li>自分にとってのS D Gs(会社、プライベート)社員全員に今期始めに決めて頂き、期の終わりにフィードバックして公表する。</li> <li>生物多様性保全の探求の結果、弊社としての具体的な取り組みは3Rの推進であると再確認。 サンテックホームのチップ化によるリサイクル(工場)、通い箱の提案によるリユース(営業) 紙ごみのリサイクル(全体)、北ノ数の削減リユース(全体)。</li> <li>周辺地域のゴミ拾いを実施し、環境美化を図るとともに、社員の意識向上を目指す。</li> <li>chemSHERPA(製品含有化学物質の情報伝達共通スキーム)の理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員の意識を高め、無理・無駄をなくした環境経営を確立する。</li> <li>継続的な取り組みにより生物多様性保全への貢献。</li> <li>5S3定の徹底。</li> <li>chemSHERPA(製品含有化学物質の情報伝達共通スキーム)講習会参加</li> </ul>
⑦環境負荷の少ない商品の 購入、開発 	<ul style="list-style-type: none"> <li>3R(リデュース・リサイクル・リユース)を考慮した製品の設計・提案</li> <li>商品開発をすすめる、「通い箱」などを提案・普及に努める。</li> <li>弊社で生産・調達・販売しているウエスはS D Gsの5項目に貢献している。</li> <li>グリーン購入、省エネ設備導入の推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3R(リデュース・リサイクル・リユース)を考慮した製品の設計・提案</li> <li>商品開発をすすめる、「通い箱」などを提案・普及に努める。</li> <li>オリジナルウエスの販売目標 2019年度：7.0t→2030年度：14t</li> <li>リサイクルマークを付ける設計を心がける。</li> <li>自然素材の包装材の開発。</li> </ul>



## 4.主な取組の実績

赤字：環境目標（数値等）

青字：環境目標及び環境活動計画

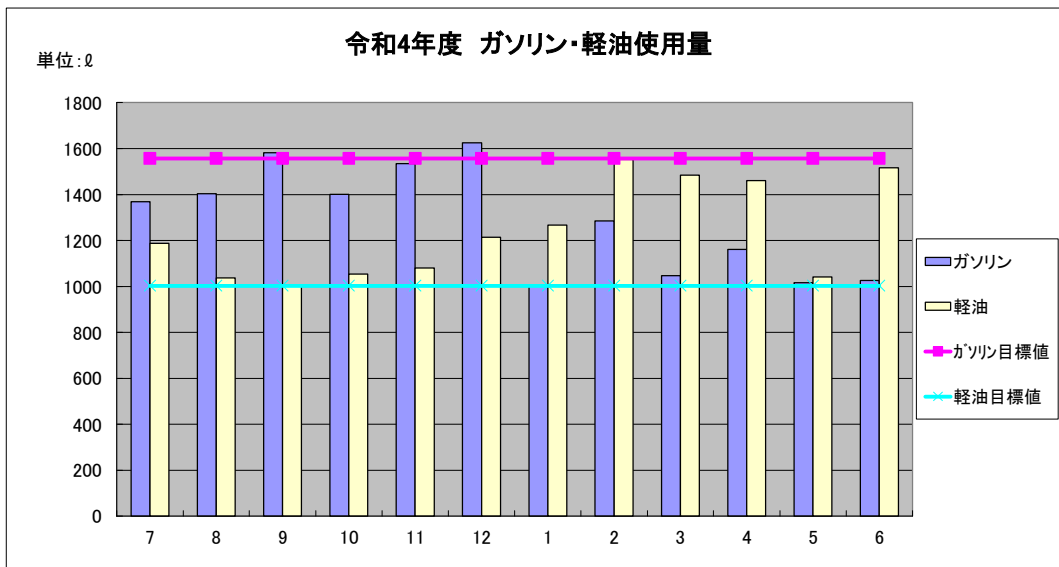
	実績	短期目標及び環境活動計画(R4.7.1～R5.6.30)	評価
①廃棄物排出量の削減及び3R 	<ul style="list-style-type: none"> <li>×</li> <li>×</li> <li>×</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<p>・産業廃棄物排出量を新基準値原単位14%削減（19,594kg） 新基準年値(16,958kg) 原単位目標（17.8）新基準年値原単位(20.7)</p> <p>・減容率は実態に合わせ算定方法を変更 前年比3%増 目標44% 新基準年値(14,183kg) 新基準年値原単位(18.5)</p> <p>・流失不良品数は17件であった。今期は30%削減（12件）を目指す。</p> <p>・メフやその他加工品端材はフロンティアリット E・P・S様に産業廃棄物として処理する。フロンティアリット E・P・S様よりRPF（固形燃料）として処理される。</p> <p>・新たにリサイクルに廻せる方法を検討する。</p> <p>・かご、雑誌、新聞、ダンボール、シュレッター屑等はヤマカ資源回収様に引き取って頂く。</p> <p>・DXの推進により請求書の電子化 電帳法運用開始準備 電子化の推進</p> <p>・コピー用紙 事務所：新基準原単位比12%削減 35,439枚 新基準年値(事務所 28,070枚)</p> <p>・工場：2018～2021年平均原単位比12%削減 12,826枚 (工場 11,442枚)</p> <p>・iPad利用により営業会議資料の電子化</p> <p>・ダブルモニターの普及によるプリントアウト削減</p> <p>・廃掃法に従った廃棄物処理を行う。</p>	<p>・目標原単位 17.8 ⇒ 24.8 未達</p> <p>排出量の目標も19,596kgに対し今期は26,560kg(+6,964kg)となり目標未達成</p> <p>・今期減容率40.38%と目標値(44%)に対し▲4.02%となり目標未達</p> <p>・今期の流出不良品件数は20件であった。目標に対し8件増えてしまった。</p> <p>・今期終わりに㈱ヨシザワ様に減容チップ引取りが始まり、減容チップの他にリサイクル可能な端材の引取りも開始した。</p> <p>産業廃棄物で出していた物をリサイクルに廻す取り組みを一層加速していきたい。</p> <p>・2023.3.7～請求書の電子化を開始 現在 利用中⇒148件 未開設⇒203件 交渉により開設数を増やす。</p> <p>・事務所 目標原単位 29.7 ⇒ 22.4 達成！</p> <p>・工場 目標原単位 13.2 ⇒ 7.4 達成！</p> <p>(事務所▲8,651枚 工場▲4,957枚)</p> <p>事務所、工場ともに目標達成！ 事務所は、営業会議資料の電子化とダブルモニター化が功を奏したと思われる。全員の協力に感謝である。</p>
②二酸化炭素排出量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>×</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<p>(平成19年度中部電力実排出係数0.47(kg-CO2/kWh))</p> <p>・二酸化炭素排出量を新基準原単位比46%削減（130,345Kg-CO2） 目標原単位 118.8 新基準年度原単位（219.4）</p> <p>・エアコンの設定温度は、室温が夏27℃、冬23℃になるよう設定する。</p> <p>・ストーブは基本温度は23℃に設定。（こまめな温度調整をお願いする。）</p> <p>・昼食時の消灯。</p> <p>・使用していない場所の電気、エアコンを消す。</p> <p>・使用していない機械の電源を切る。</p> <p>・前年燃費に対し3%UPを目標とする。（各車両ごと）</p> <p>・営業、セールスドライバーの重複するエリアの特定。テレマテックスの利用</p> <p>テレマテックスを導入し、急ハンドル、急加速、急減速など「急」を無くすことにより 安全運転&amp;エコドライブの実現</p> <p>営業エリアと配送エリアの重複を回避し燃料と時間のロスを減らす。</p> <p>・社内に拘らず、社外に対してもカーブス、ウォームビスの推奨をお願いする。</p> <p>・社外に対しCO2削減をお願いする為、弊社敷地内でのアイドリング禁止をお願いする。</p> <p>・残業時間2019～2021年度の原単位平均値⇒0.024 -30%目標を目指す。 目標原単位 0.017</p> <p>・労働生産性 2019～2021年度平均比で5%UPを目指す。</p> <p>・事務所倉庫の整理整頓(年末の大掃除に不要な商品廃棄によりスペース確保後、商品置き場の最適化)</p> <p>・松本市花いっぱい運動への寄付によりCO2削減を外部組織との協働実施。</p>	<p>・目標原単位 118.8⇒ 109.1 目標達成！ 過去最少量を記録！！</p> <p>二酸化炭素排出量は目標達成。（▲13,563kg-CO2）</p> <p>・電気に関しては 目標原単位 58.92 ⇒65.24 未達</p> <p>使用量も増加（+4,973kWh） 工場で暖の取り方をストーブ⇒エアコンに変更が大きな要因と思われる。</p> <p>事務所の冬場の電気も増加傾向にある。</p> <p>・灯油も達成！ 目標原単位 2.64 ⇒ 0.58（▲2,264ℓ）</p> <p>工場電気同様にでのストーブ⇒エアコンに変更が大きな要因。</p> <p>・重油も達成！ 目標原単位6.12 ⇒ 4.53 未達（▲1,918ℓ）</p> <p>(しかし出荷量が1,000袋ほど減ってしまっている。今後生産自体の見直しも考慮する必要がある)</p> <p>・軽油：目標原単位 11.25 ⇒ 13.93 未達成（+2,868ℓ）</p> <p>・ガソリン：目標原単位 17.46 ⇒ 14.44 達成！（▲3,231ℓ）</p> <p>ハイブリッド車の導入効果が出ていると考えられる。</p> <p>今後も入れ替えを行う車両は、ハイブリッドタイプがある場合は選択する。</p> <p>・残業時間原単位 0.077と大きく増えてしまった。</p> <p>・労働生産性に関しては、原単位166⇒515と310%UP</p> <p>・年末の大掃除に不要な商品破棄によるスペース確保行った。 まだまだメスを入れないといけない箇所がある。</p>
③水使用量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> <li>×</li> </ul>	<p>・節水の継続的取組み。(269m)</p> <p>(増加傾向がある為、蛇口の閉め忘れ等十分注意する)</p>	<p>・+19mとなっていました。</p> <p>本社トイレリニューアルの効果を期待したい。</p>
④化学物質の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> </ul>	<p>・化学物質を適正に管理する (特にRoHS2)</p>	<p>・化学物質管理規定に基づき適正に管理出来た。</p>
法令等の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<p>・環境法令の調査、リスト作成および関係法令の周知。(環境基本法～)</p> <p>・SDSを会社で管理・社員に周知・対策検討。</p> <p>・防災検査結果の確認。</p> <p>・R2.3.16 経済産業省より連携事業継続力強化計画認定された。自社のBCPの整備を強化。</p> <p>・フロン排出抑制法対策。(エアコンの簡易点検実施)</p>	<p>・法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底</p> <p>・緊急時の訓練を年1回実施した。</p> <p>・環境教育の推進</p> <p>・Ni Collaboによる安否確認を開始。最大震度5以上 全社員に自動配信</p>
環境教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>×</li> </ul>	<p>・SDGs(持続可能な開発目標)への理解を深める</p> <p>・自分にとってのSDGs(会社、プライベート)社員全員に今期始めに決めて頂き、期の終わりにフィードバックして頂く</p> <p>・生物多様性保全の探求の結果、弊社としての具体的な取り組みは3Rの推進であると再確認。</p> <p>サンテックホームのチャージ化によるリサイクル(工場)、通い箱の提案によるリユース(営業)</p> <p>紙ごみのリサイクル(全体)、コピー数の削減リユース(全体)。</p> <p>・周辺地域のゴミ拾いを実施し、環境美化を図るとともに、社員の意識向上を目指す。</p> <p>・chemSHERPA(製品含有化学物質の情報伝達共通スキーム)の理解を深める。</p>	<p>・SLACK(社内情報共有ツール)⇒Ni Collaboへ移行</p> <p>Ni Collaboにより様々な情報を発信し社内共有を図る。</p> <p>・「自分にとってのSDGs」カードの携帯により意識改革を図った。</p> <p>・講習会情報をチェックし参加する。</p> <p>・周辺のゴミ拾い、社内草かきの実施(2回実行した)</p>
環境負荷の少ない商品の購入、開発 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<p>・3R(リデュース・リサイクル・リユース)を考慮した製品の設計・提案</p> <p>・商品開発をすすめ、「通い箱」などを提案・普及に努める。</p> <p>・弊社で生産・調達・販売しているウエスはSDGsの5項目に貢献している。</p> <p></p> <p>・グリーン購入、省エネ設備導入の推進。</p>	<p>・今期も工場間の通い箱も何件か受注できた。</p> <p>今後も継続的に提案を行う。</p> <p>・ウエスの原料不足は解消し、安定して製造・供給できている。</p>

### 5-2環境活動と結果（ガソリン・軽油使用量、重油使用量）

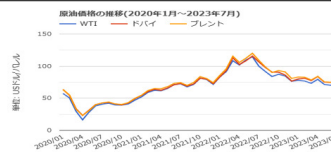
環境目標：ガソリン新基準値原単位比31%削減 目標原単位 17.0 軽油新基準値原単位比50%削減 目標原単位 10.9 1070 単価：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
ガソリン	1,369	1,403	1,582	1,401	1,534	1,625	1,006	1,284	1,046	1,161	1,016	1,027	15,453
ガソリン目標値	1,557	1,557	1,557	1,557	1,557	1,557	1,557	1,557	1,557	1,557	1,557	1,557	18,689
ガソリン原単位	1.28	1.31	1.48	1.31	1.43	1.52	0.94	1.20	0.98	1.08	0.95	0.96	14.44
ガソリン原単位目標	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	17.46
評価	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
軽油	1,188	1,037	1,008	1,054	1,080	1,214	1,267	1,552	1,484	1,461	1,042	1,516	14,904
軽油目標値	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003	12,040
軽油原単位	1.11	0.97	0.94	0.99	1.01	1.14	1.18	1.45	1.39	1.37	0.97	1.42	13.93
軽油原単位目標	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	0.94	11.25
評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

15,453  
18,684  
-3,231  
14,904  
12,036  
2.68  
2,868



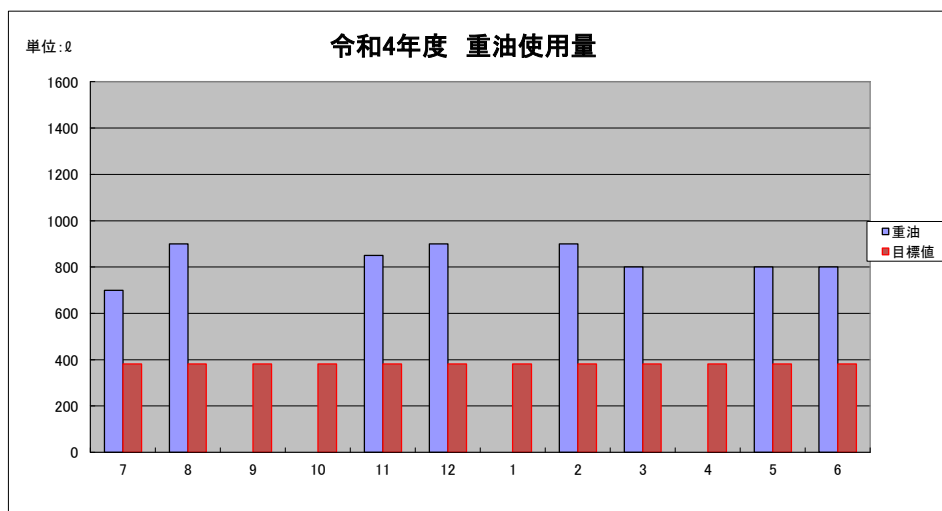
ガソリンの原単位目標は達成しました。  
ご協力に感謝します。ありがとうございました。  
軽油は、原単位目標 + 2.68 と目標達成には至りませんでした。  
来期こそは目標達成目指しエコドライブ宜しくお願い致します。



環境目標：新基準値原単位比31%削減(目標原単位6.1) 1070 単価：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
重油	0	800	800	0	800	0	800	0	800	0	850	0	4,850
目標値	564	564	564	564	564	564	564	564	564	564	564	564	6,768
重油原単位	0.00	0.75	0.75	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00	0.79	0.00	4.53
原単位目標値	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	6.12
評価	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○

-1,918  
-1.59



目標達成です。  
青木さんありがとうございました。  
しかし2020～2021の2年間の平均出荷数は 3,052/袋でしたが今期は 2,183/袋と約1,000袋減っています。  
生産自体を見直す時期にきていると感じます。

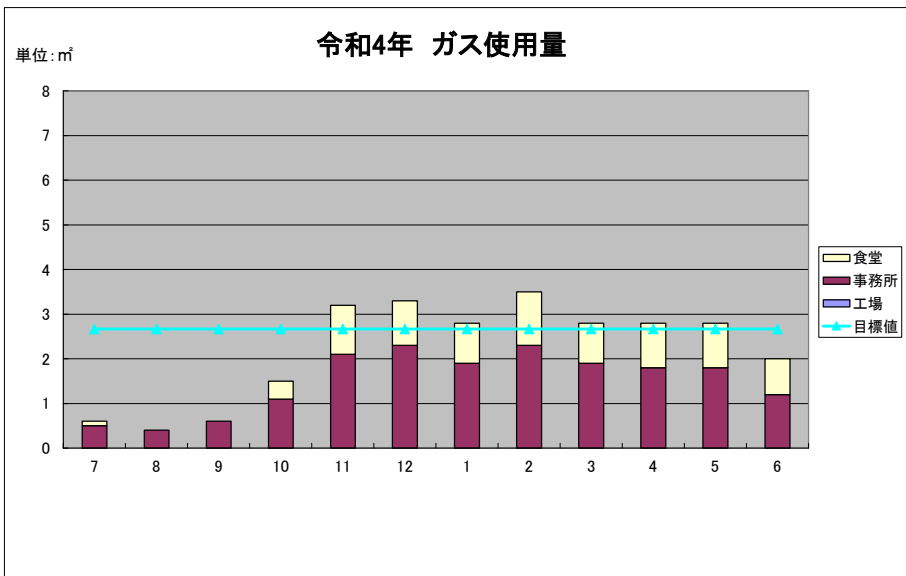


### 5-1環境活動と結果(ガス使用量、灯油使用量)

環境目標 新基準値原単位比63%削減 目標原単位0.03

1070 単位：m

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計		
工場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事務所	0.5	0.4	0.6	1.1	2.1	2.3	1.9	2.3	1.9	1.8	1.8	1.2	17.9	26.3	
食堂	0.1	0.0	0.0	0.4	1.1	1.0	0.9	1.2	0.9	1.0	1.0	0.8	8.4	32.0	
合計	0.6	0.4	0.6	1.5	3.2	3.3	2.8	3.5	2.8	2.8	2.8	2.0	26.3	26.3	
目標値	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	32.0	32.0	
原単位	0.001	0.000	0.001	0.001	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.02	0.025	
原単位目標	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.03	0.030	
評価	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	-0.005	

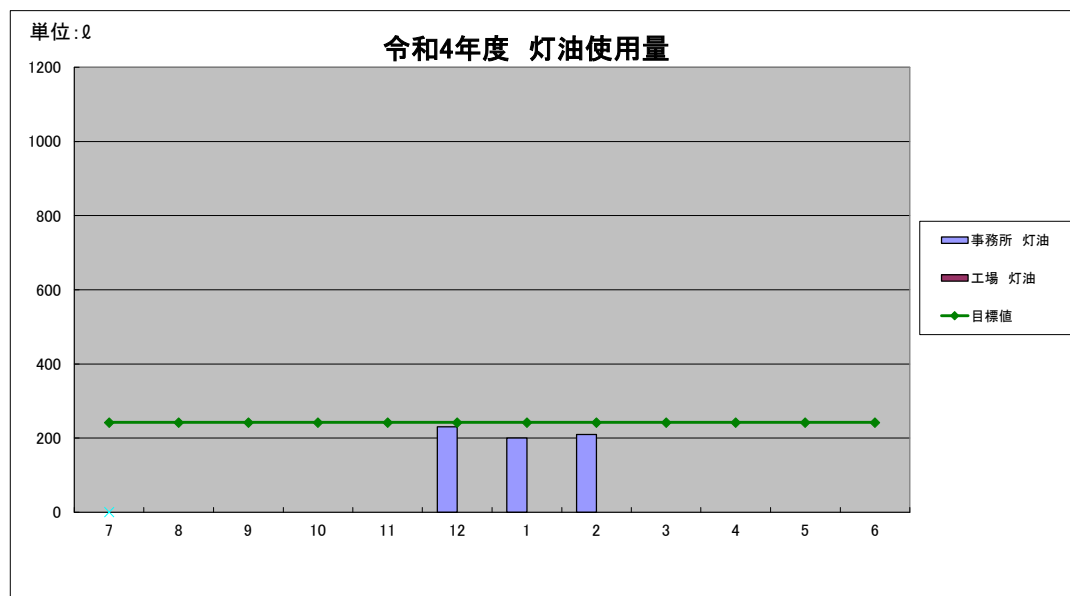


目標達成しました。  
工場でガスの供給をストップしたことが大きかったと考えます。  
ご協力ありがとうございました。

環境目標：新基準値原単位比31%削減 目標原単位2.6

1070 単位：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	評価
事務所 灯油	0	0	0	0	0	230	200	210	0	0	0	0	640	○
工場 灯油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○
事務所+工場	0	0	0	0	0	230	200	210	0	0	0	0	640	○
目標値	242	242	242	242	242	242	242	242	242	242	242	242	2,904	○
原単位 事務所+工	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.21	0.19	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.60	○
原単位 目標値	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	2.71	○
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



工場はエアコンで暖をとる方法へシフトした関係でストーブの使用も無くなり、従って灯油の使用も無くなりました。  
その結果、目標は大幅に達成出来ました。ありがとうございます。

### 5-3環境活動と結果（コピー用紙使用量、温室効果ガス推移）

2023/10/13現在

環境目標： 事務所 新基準値原単位比19%削減 工場 H30～R2年平均比12%削減 目標原単位 工場11.7 事務所29.7

1070

ミカサ工場

単位：枚

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
工場	1,089	574	791	838	589	444	569	583	555	505	674	660	7,871
工場 目標値	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069	1,069	12,828
工場原単位	1.018	0.536	0.739	0.783	0.550	0.415	0.532	0.545	0.519	0.472	0.630	0.617	7.4
工場 原単位目標値	1.100	1.100	1.100	1.100	1.100	1.100	1.100	1.100	1.100	1.100	1.100	1.100	13.2
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

-4,957

-6

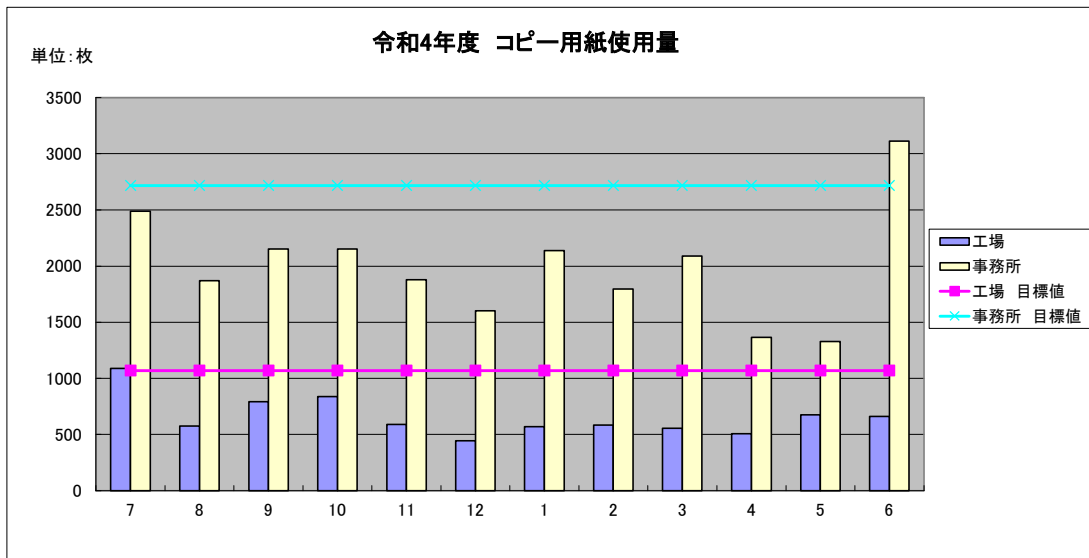
ミカサ事務所

単位：枚

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
事務所	2,488	1,869	2,152	2,152	1,877	1,601	2,137	1,796	2,088	1,363	1,328	3,114	23,965
事務所 目標値	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	2,718	32,616
事務所原単位	2.325	1.747	2.011	2.011	1.754	1.496	1.997	1.679	1.951	1.274	1.241	2.910	22.4
事務所 原単位目標値	2.475	2.475	2.475	2.475	2.475	2.475	2.475	2.475	2.475	2.475	2.475	2.475	29.7
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

-8,651

-7



事務所、工場共に目標達成です。

ご協力に感謝します。

無駄なコピーや印刷をしない努力の継続を引き続きお願い致します。

環境目標： 新基準値原単位比46%削減（目標原単位118.5）

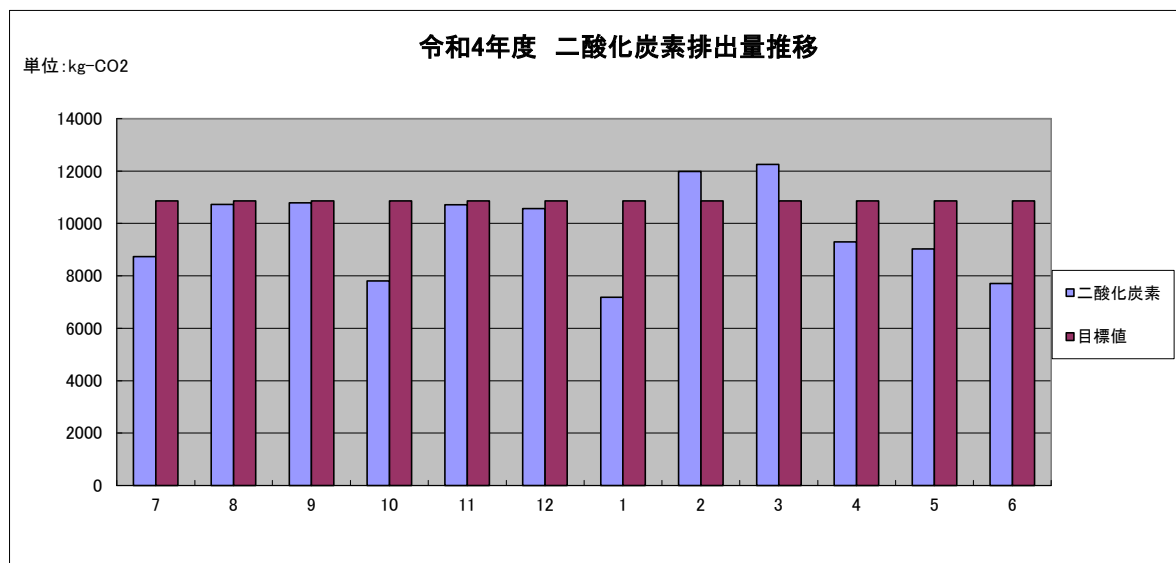
1070

単位：kg-CO2

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
二酸化炭素	8,733	10,725	10,785	7,800	10,718	10,573	7,179	11,985	12,250	9,298	9,027	7,709	116,781
目標値	10,862	10,862	10,862	10,862	10,862	10,862	10,862	10,862	10,862	10,862	10,862	10,862	130,344
二酸化炭素原単位	8.2	10.0	10.1	7.3	10.0	9.9	6.7	11.2	11.4	8.7	8.4	7.2	109.1
目標原単位	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	118.8
評価	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○

-13,563

-9.7



目標原単位▲9.7と下回り目標達成です。116,781 kg-CO2は過去最低を記録しました。

二酸化炭素排出はE A 2 1の肝とされる目標です。

（電気、ガソリン、軽油、重油、灯油、ガス）と化石エネルギーのトータルが二酸化炭素排出量です。

ミカサ社員全員に感謝致します。ありがとうございました。

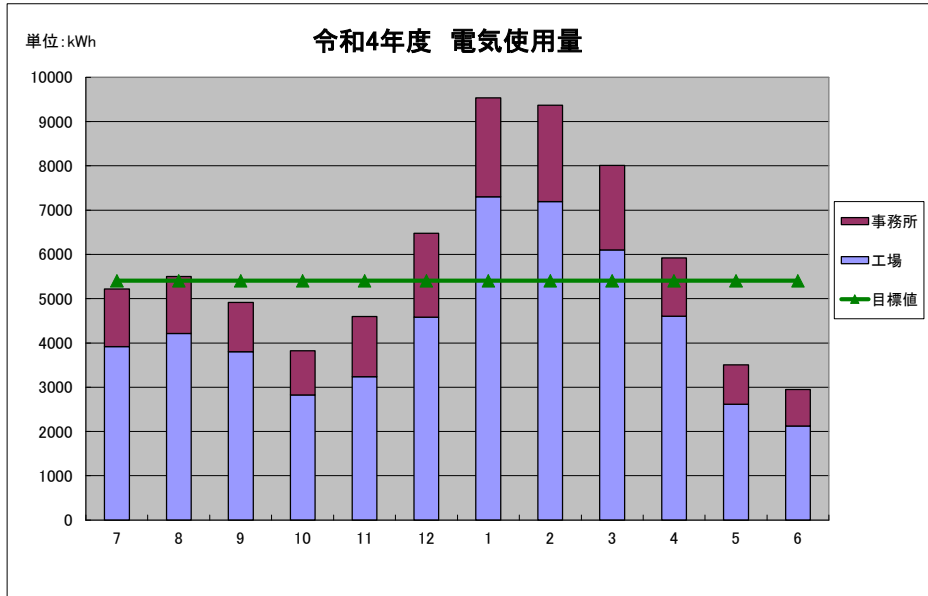
### 5-4環境活動と結果(電気使用量、上下水道使用量)

環境目標：新基準値原単位比28%削減(目標原単位58.9)

1070

単位：kWh

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	評価
工場	3,919	4,213	3,799	2,824	3,239	4,586	7,297	7,192	6,100	4,605	2,615	2,121	52,510	×
前年工場	3,669	3,094	2,709	3,341	4,410	5,117	6,318	6,277	5,415	2,153	2,066	3,919	48,488	4,022
事務所	1,297	1,287	1,114	997	1,360	1,888	2,238	2,179	1,910	1,319	887	823	17,299	×
前年事務所	1,690	1,038	815	1,832	1,605	1,513	1,487	1,368	1,310	1,001	853	1,297	15,809	1,490
工場+事務所	5,216	5,500	4,913	3,821	4,599	6,474	9,535	9,371	8,010	5,924	3,502	2,944	69,809	×
目標値	5,403	5,403	5,403	5,403	5,403	5,403	5,403	5,403	5,403	5,403	5,403	5,403	64,836	4,973
原単位工場+事務所	4.87	5.14	4.59	3.57	4.30	6.05	8.91	8.76	7.49	5.54	3.27	2.75	65.24	×
原単位目標値	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	58.92	6.32
評価	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○		



工場での暖の取り方をストーブ⇒エアコンへシフトした影響により目標達成には至りませんでした。しかし、今期の工場での灯油購入量は0円と貢献して頂きました。

ありがとうございます。

事務所は前年比 +1,490kWh +145,682円

工場は前年比 +4,022kWh +!トータルで年間 +728,612円増えてしまいました。

ここ最近の電気料金値上りの影響を受けた結果でもあります。

**灯油は先期 316,171円 に対し、今期 67,430円 ▲248,741円**

工場の電力は暖をとるだけではなく仕事量に比例しますので単純ではないのですが、今後の電気代の推移を見つ

ストーブの再度利用の考慮が必要かもしれません。

環境目標：節水の継続的な取り組み

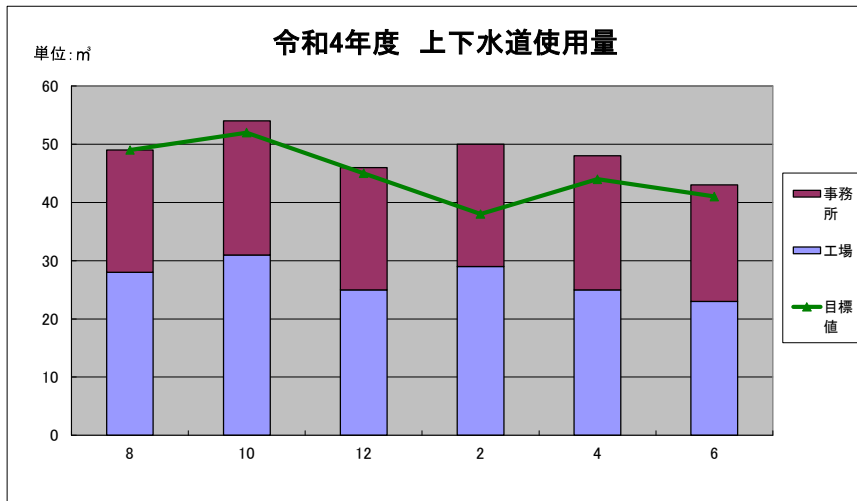
単位：m

	8期	10期	12期	2期	4期	6期	合計
工場	28	31	25	29	25	23	161
事務所	21	23	21	21	23	20	129
合計	49	54	46	50	48	43	290
目標値	49	52	45	38	44	41	269
評価	○	×	×	×	×	×	×

247

228

19



目標未達成となりました。

19m³オーバーです。

本社トイレをリニューアルし節水型の洋式トイレとした効果が来期現れる事に期待したいです。

引き続き節水にご協力宜しくお願い致します。

## 5-5環境活動と結果(産業廃棄物、減容チップ)

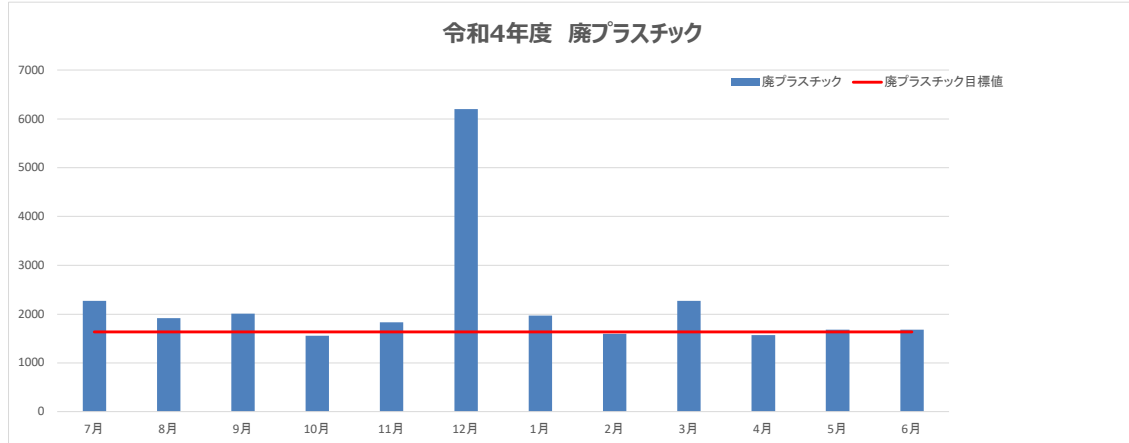
環境目標：産業廃棄物排出量を新基準値原単位14%削減（19,594 kg）原単位17.8

1070  
単位：kg

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
廃プラスチック	2,270	1,920	2,010	1,560	1,830	6,200	1,970	1,600	2,270	1,570	1,680	1,680	26,560
廃プラスチック目標	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	19,596
廃プラスチック原単	2.12	1.79	1.88	1.46	1.71	5.79	1.84	1.50	2.12	1.47	1.57	1.57	24.82
原単位目標値	1.48	1.48	1.48	1.48	1.48	1.48	1.48	1.48	1.48	1.48	1.48	1.48	17.76
評価	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×

6,964

7.06



今年度は過去最高売上である10億7000万円を達成し、工場の加工品も大幅に増えたのも相まって産業廃棄物排出量の目標値を大幅に超えてしまいました。

来期から減容チップを(株)ヨシザワ様に引取り&購入頂ける事になり、減容していない端材も同時に回収頂ける事になりました。

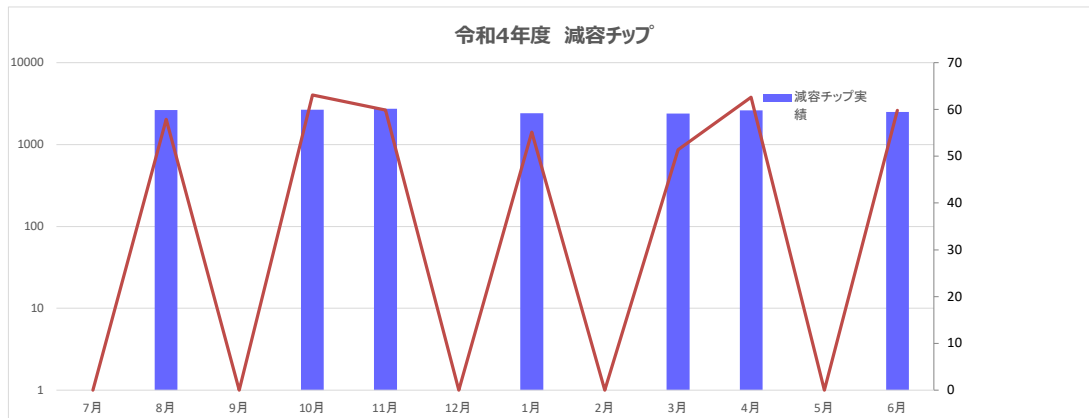
【産業廃棄物として破棄しているものでも(株)ヨシザワ様であれば再生可能かもしれない】

来期は、(株)ヨシザワ様と連携を深め産業廃棄物⇒再生可能商品へと可能な限り増やしていきたいです。

減容チップ環境目標：減容率新基準値比2%UP(44.4%)

1070  
単位：kg

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
減容チップ実績	0	2,640	0	2,670	2,730	0	2,420	0	2,400	2,630	0	2,500	17,990
産廃実績	2,270	1,920	2,010	1,560	1,830	6,200	1,970	1,600	2,270	1,570	1,680	1,680	26,560
減容率実績	0.00	57.89	0.00	63.12	59.87	0.00	55.13	0.00	51.39	62.62	0.00	59.81	40.38
減容率目標値	44.40	44.40	44.40	44.40	44.40	44.40	44.40	44.40	44.40	44.40	44.40	44.40	44.40
評価	×	○	×	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×



目標達成には至りませんでした。

目標値44.4%に対し40.38%とわずかに及びませんでした。

来期は本格的に(株)ヨシザワ様より引取りを開始します。

今迄産廃に出していた端材の引取りも可能となる為産廃実績の削減も期待できます。(産廃実績が少なくなれば減容率もUPします)

## ⑫環境上の緊急事態の訓練結果

### ○消防訓練



本社、警報機の説明



本社、消火器の取り扱い説明



本社避難訓練点呼の様様



工場、警報機の説明



工場、パッケージ型消火器の取り扱い説明



工場、消火器の取扱説明

**参加者** 事務所 三澤社長、三澤専務、丸山部長、久保田課長、山越、小澤、黒澤、竹内、熊澤、小林

**工場** 百瀬常務、古幡、寺田、中村、田中（翼）、加藤、窪田、柳澤、市川、遠山、斉藤、床尾

**講師** CSK総合防災(株) R5.3.7実施

#### ○課題点とその対策

事務所：業務上新入社員が不参加だった為、後日訓練手順の説明を重点的に行いました。

工場：消火器周辺の片付けを日頃から行うよう指導しました。

#### ○欠席者への対応

事務所：酒井次長、今井、瀬原田、酒井（康）

工場：久保田工場長、田中（伸）

上記人員に対して後日訓練手順の説明を実施しました。

## ○重油流出対応訓練



油吸着材使用訓練の様子



使用した油漏れ緊急対策セット

実施場所：工場重油タンク  
参加者：古幡、寺田、田中(翼)、窪田

### R5.3.7実施

#### ○課題点とその対策

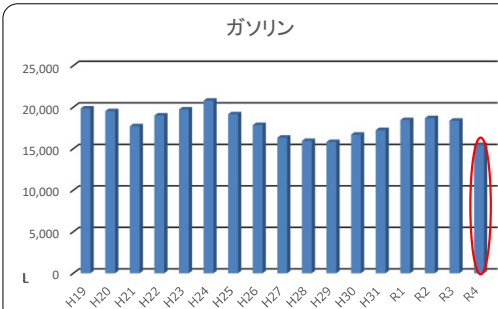
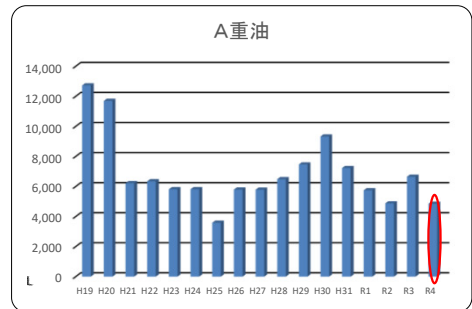
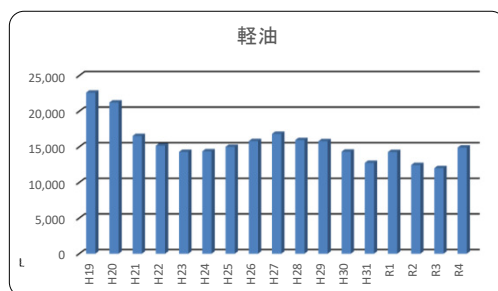
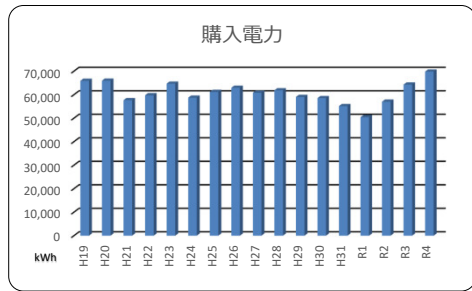
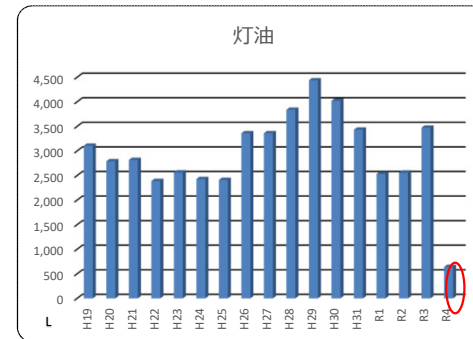
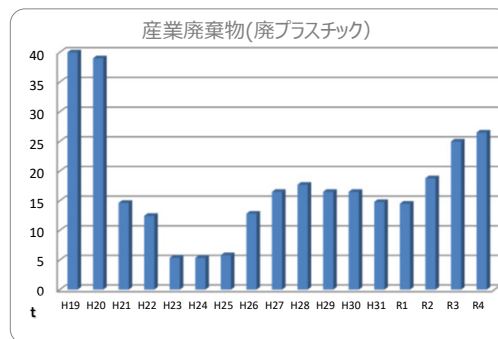
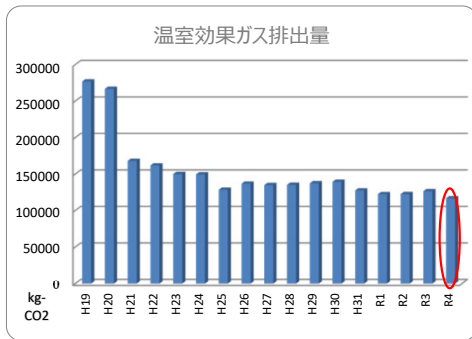
重油タンク周辺の片付け、通路の確保を実施するよう指導しました。

#### ○欠席者への対応

後日欠席者(久保田工場長、田中(伸))に対して訓練手順の説明を実施しました。



## 7.EA2.1 経年変化のまとめグラフ (H19~R4)



温室効果ガス排出量は過去最少量を記録した。  
過去最高売上であった今期、この記録は素晴らしい事である。

- 理由としては全社員の頑張りはもちろんではあるが
- ①工場にてストーブ⇒エアコンで暖を取るようにした為、灯油使用料が極端に減ったこと。
  - ②アスパック/サラサラの出荷量が約1,000袋/年減ったことにより重油の使用量も比例して減ったこと。
  - ③ガソリンの使用量が過去最低量を記録したこと。

この3点が大きな要因と考える。

環境への負荷		単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R1	R2	R3	R4
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	276,743	266,732	168,032	161,792	149,976	149,447	128,482	136,777	134,874	135,260	137,337	139,343	127,522	122,440	122,510	126,508	116,781
産業廃棄物	廃プラスチック	t	40	39	14.64	12.44	5.36	5.34	5.81	12.81	16.5	17.7	16.5	16.5	14.8	14.5	18.8	25	26.5
エネルギー使用量	購入電力	kWh	65,919	65,984	57,666	59,754	64,697	58,737	61,178	62,949	60,829	61,873	59,036	58,535	55,151	50,427	57,027	64,297	69,809
	灯油	L	3,107	2,790	2,817	2,389	2,564	2,429	2,411	3,361	3,361	3,838	4,438	4,021	3,434	2,532	2,560	3,474	640
	A重油	L	12,730	11,700	6,220	6,350	5,820	5,820	3,590	5,800	5,790	6,490	7,470	9,330	7,230	5,750	4,880	6,650	4,850
	ガソリン	L	19,847	19,524	17,711	19,001	19,728	20,785	19,152	17,850	16,325	15,942	15,807	16,702	17,241	18,448	18,678	18,374	15,453
	軽油	L	22,628	21,235	16,543	15,177	14,306	14,387	15,017	15,826	16,843	15,962	15,803	14,344	12,758	14,291	12,461	12,021	14,904

平成19年度中部電力実排出係数0.47 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

### 9.環境関連法規への違反、訴訟の有無

取りまとめ表の更新：毎年定期的な遵守評価を実施する際に制定、改正の確認を行い変更があれば更新する

取りまとめ表更新日：2023年5月10日

遵守評価日：2023年5月10日

遵守評価の時期：代表者による見直しの前

	承認	作成
とりまとめ表		
遵守評価記録		

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	条項 (法律、規則、施行令)	関連条例等による規制	該当する設備・項目	点検・測定 頻度、実施 時期	届出・報告・資格				担当 部署	順守評価		
						許可	届出 報告	資格	届出先		証拠	判定	
廃棄物処理 法	・委託基準：一廃収集業者の許可の確認	法2条3項、令 4条4項		一般廃棄物(紙くず、織 織くず、木くず、生ごみなど)	・1回/年					総務	許可証 フロントアシピット 011-17-261-497	○	
	・委託基準：産廃収集運搬・処理業者の 許可の確認 契約	法12条の4		産業廃棄物(金属 類・廃プラスチック類・ 廃油・木製パレット)	・契約書/許 可証につき1 回/年					総務	契約書・許可証 フロントアシピットR11.12.25 4-57036-3-0	○	
	・保管基準 掲示板：60cm×60cm以上表示 飛散・浸透防止 衛生管理	法12条2項 則8条											
	・マニフェスト交付 B2・D票90日、E票180日以内に送付 されない場合は30日以内の知事への報告	法12条の3、 法12条の5、 則8条の20、 則8条の26～				・マニフェスト 新規交付時 又は月末		○		知事	総務	マニフェスト	○
	・産廃廃棄物管理票交付等状況報告書の 提出	法12条の3第 6項、則8条の				・6月末まで		○		知事		電子マニフェスト に移行為の為不要	○
	・処理業者から処理困難の通知を受けた場 合、30日以内に知事に「措置内容等報告 書」による報告	法12条の3第 8項						○		知事		通知書	
	・処理の状況について確認の努力義務 ・水銀使用製品産業廃棄物	法12条第7項			蛍光管								
・自社による運搬時の表示、書類携行	則7条の2の2												
水質汚濁防 止法	・油及び有害物質の流出事故時の措置と届 出	法14条2項		重油タンク 灯油タンク			○	事故 時		知事		事故(有(無))	
フロン排出抑 制法	・フロン類の登録充填回収業者による適切な 引き渡し	法41条		業務用空調機	廃棄時 修理時					総務		委託確認書 引取証明書	
	・環境影響の少ない指定製品の使用に努め る	法5条											
	・フロン類回収時の委託確認書交付と引取 証明書の保存(3年間)	法43条											
	・引取証明書が30日以内に送付されない場 合の知事への報告						○		知事				
	対象；第1種特定機器 ・簡易点検(すべて 1回/3ヶ月以上)	法16条		コウバ5.7kw カッティ ン0.9kw/2.6kw 工場長室1.8kw 貼り 場1.6kw 2階事務所 0.65kw 事務所(東) 1.8kw 事務所(西) 1.0kw						総務 製造		点検記録	○
・消防法 ・松本市広域連 合火災予防条 例	指定可燃物の扱い	法9条の4 条例30条～ 34条の3.51条	松本市広域連合火災予防条例	合成樹脂類 発泡させ た物 20m以上			○			消防署	製造	資格の有無 現場観察	○
グリーン購入 法	できる限り環境物品等を選択するよう努める	法5条		購入品・調達品 購入先・外注先									

保管：環境事務局  
伝達：関連部署

遵守評価の欄：確認した記録など記入 判定欄：○×(×の場合は問題点は正/予防処置票により解決を図る)

## 10.活動の見直し

評価

<p><b>廃棄物</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物排出量 目標原単位 17.8 ⇒ 24.8 未達 排出量も(+6,964kg)と大幅UPとなり目標未達成</li> <li>・減容率 目標 44.4% ⇒ 40.38% 未達</li> <li>・流出不良品件数 目標 12件⇒20件 未達</li> <li>・コピー用紙削減目標 事務所 目標原単位 29.7 ⇒ 22.4 達成! 工場 目標原単位 13.2 ⇒ 7.4 達成! (事務所▲8,651枚 工場▲4,957枚)</li> </ul>	<p>×</p> <p>×</p> <p>×</p> <p>○</p>
<p><b>二酸化炭素排出量の削減</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素排出量 目標原単位 118.8⇒ 109.1 達成! 過去最少量を記録 (▲13,563kg-CO2)</li> <li>・電気 目標原単位 58.92 ⇒65.24 未達 (+4,973kWh) 工場の暖の取り方変更(ストーブ⇒エアコン)により使用量が大幅に増加してしまつた。冬の事務所も増加傾向である。</li> <li>・灯油 目標原単位 2.64⇒0.58 達成! (▲2,264ℓ) 工場電気同様にでのストーブ⇒エアコンに変更が大きな要因。</li> <li>・重油 目標原単位6.12 ⇒ 4.53 達成! (▲1,918ℓ)</li> <li>・軽油: 目標原単位 13.8 ⇒ 11.54 未達 (+2,868ℓ)</li> <li>・ガソリン: 目標原単位 17.46 ⇒ 14.44 達成! (▲3,231ℓ) ガソリンはハイブリット車導入効果が出ていると考えられる。 今後入れ替えを行う車両は、ハイブリットタイプがある場合は選択する。</li> </ul>	<p>○</p> <p>×</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>×</p> <p>○</p>
<p><b>水使用量の削減</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・+19mとなつてしまつた。僅かな量であるので意識向上を図り目標達成したい。</li> </ul>	<p>×</p>
<p><b>化学物質の管理</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質管理規定に基づき管理できた。</li> </ul>	<p>○</p>
<p><b>法令等の遵守</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底</li> <li>・緊急時の訓練を年1回実施した。今年度は灯油、重油の流出時の訓練も行うことが出来た。</li> <li>・Ni Collaboによる安否確認を開始。最大震度5以上 全社員に自動配信</li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p><b>環境教育の推進</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所、工場共に周辺のゴミ拾い、社内草かきを2回実施することが出来た。 環境への意識向上を試みた。継続性が必要と感じる。</li> <li>・EA21及びSDGsにおけるこだわりを仕事、プライベートと全社員考えて頂き、E A 2 1 環境経営目標と共にカードとして一人一人に配布し意識向上を図った。</li> <li>・E A 2 1 カイゼン広場スタート。年間2回の表彰制度を設け他人ごとではなく自分ごとへと意識改革を図った。</li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p><b>環境負荷の少ない商品の開発</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も工場間の通い箱も何件か受注できた。 今後も継続的に提案を行う。</li> <li>・ウエスの原料不足は解消し、安定して製造・供給できている。</li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p>

## 11.代表者のコメント

新型コロナが5類に移行し、世の中がコロナ前の生活に戻つつあります。人の移動も盛んになり、海外からの旅行者もかなり増えてきております。再びインバウンド需要を取り込み、日本経済も回復基調に向かつてくれる事を期待しております。

弊社は昨年度も好業績の半導体等の製造業の恩恵を受け、過去最高の業績を更新する事が出来ました。

その影響もあり昨年度は産業廃棄物の排出量が大幅にアップしてしまいました。

その反面、二酸化炭素排出量は過去最少量を記録し、目標を達成することが出来ました。社用車のハイブリット化とエコ運転によりガソリンの使用量を減らすことが出来たのが大きな要因と考えます。

また、コピー用紙の使用量も事務所、工場共に削減目標を達成出来たのも大きな成果でした。

事務所のディスプレイをダブルモニター化し、極力印刷することを減らせたことが大きな要因と考えられます。

業績が伸びている中でも、目標に対してこれだけ削減出来た事は心から喜ばしく思います。

社員全員の環境保全活動への協力の成果と感謝しております。

今年度はこの成果を裏付けとして、ラジオ放送、テレビCMで弊社のSDGsへの取り組みをアピールさせて頂いて戴いております。

このCMがお客様への宣伝となる事を期待すると共に、社員全員のSDGsへの取り組みのモチベーションアップに

繋がることを願っております。

昨年12月に弊社の主力製品のサンテックフォームにバイオマスグレードが追加されました。今年度は、社内の環境保全活動のレベルアップを継続すると共に、お客様へも環境負荷の少ない商品のご提案に力を入れていきたいと考えております。

昨年度の実績に自信を持ち、今年度も社員全員の力を合わせて更に上のステージを目指して環境保全活動に努めていきたいと思つています。

株式会社ミカサ

代表取締役社長

三澤 敏宏